

公明党 池上 茂樹 議員

地域消防力の強化について

(質問) 昼間消防力の強化を図るため、学生消防団を機能別消防団に位置付けてはどうか。また、消防団の福利厚生と士気の向上のため、「消防団応援の店」の設置を考えているか。

(答弁) 本市の消防団の現状は、行政地区毎の23分団と女性消防団のHiまわり分団で構成され、条例定数455人に対し実員454人と充足率は高いが、消防団員のサラリーマンの割合は、平

成28年4月1日現在、62.5%と増加傾向にあり、昼間消防力は低下している。

学生消防団については、卒業後、各々が定住する場所で、将来の防災の担い手として活躍が期待できることから、学生による救急法指導や災害時の後方支援などの活動を行いながら、機能別消防団員の勧誘を進めていく。

「消防団応援の店」については、三重県消防協会主体による制度に便乗し、平成29年10月に開始する予定で調整している。

その他の質問 ○下水道整備について

緑風会 今井 俊郎 議員

子育て応援館の活用について

(質問) 子育て応援館の利用制限がかけられている市民の子育てサークル支援のために、受け入れる環境整備や制度変更が必要である。今後の施設利用活性化への方向性を問う。

(答弁) 市内の各所においてNPOや福祉関係団体、市民団体など多様な主体が子育て支援事業を実施している。子育て応援館でも、ひとり

親家庭などの学習支援、子どもと親の居場所づくり事業、りんりんの出前授業、市内に拠点を置き、主に市民で構成されている子育てに関わる団体やサークルへ施設を提供するなどの事業を行っている。現在は多くの団体が利用しており予約がいっぱいになる状況である。今後は開かれた子育て応援館となるよう制度の見直しや指定管理者制度の導入を検討していきたい。

その他の質問

○公文書の年号表記の基準について

○シティセールスについて

日本共産党 橋詰 圭一 議員

マイナンバーの利用について

(質問) ①マイナンバーカードの発行枚数と、マイナンバー関連経費の総額は。②各種申請書に個人番号の記載がなくても受付を行うか。③5月に事業主に送付する住民税特別徴収通知書に個人番号を記載することは、個人にも、事業主にも、自治体にとっても問題が多い。個人番号の記載は何の必要性もなく、多くの問題とり

スクを伴う。個人番号を不記載で送付する自治体もあり、再検討を求める。

(答弁) ①平成29年2月末現在、本市の交付枚数は14,277枚である。関連経費は約5億3千万円で、本市の負担額は2億9千万円となる。②各種申請書に個人番号の記載がなくても受付を行う。③住民税特別徴収通知書に個人番号を記載し、特定記録郵便で送付する予定である。議員の質問を踏まえ、他市の動向を注視していく。

その他の質問 ○国民健康保険について

日本共産党 森川ヤスエ 議員

学校の施設整備について

(質問) 学校の施設整備の遅れは目を疑いたくなる。特に、河曲、石薬師、牧田、庄野の各小学校の体育館は気の毒なほどの傷み具合で、建て替えを進める必要がある。学校のトイレの吐き気がするような悪臭の中で子どもたちが学校生活を送っている。また、洋式トイレが少なく、くみ取り式外付けトイレがある学校では、新1年

生は便器の形に切り取った紙を利用して使い方を学ぶが、下の汚物が見えるので、怖くてトイレに行けないこともあると聞いている。他の問題も含め、ひどくならないうちに施設整備できるよう、きちんとした計画を立てることを求める。

(答弁) 児童の安全はもちろん、地域の防災機能向上の観点や、トイレなどの衛生面、バリアフリー化、他の施設との複合化など建て方を変える検討も必要なことから、河曲、石薬師、牧田、庄野の4校の体育館については、建て替えの必要があると考えている。